

# 特許文書分科会

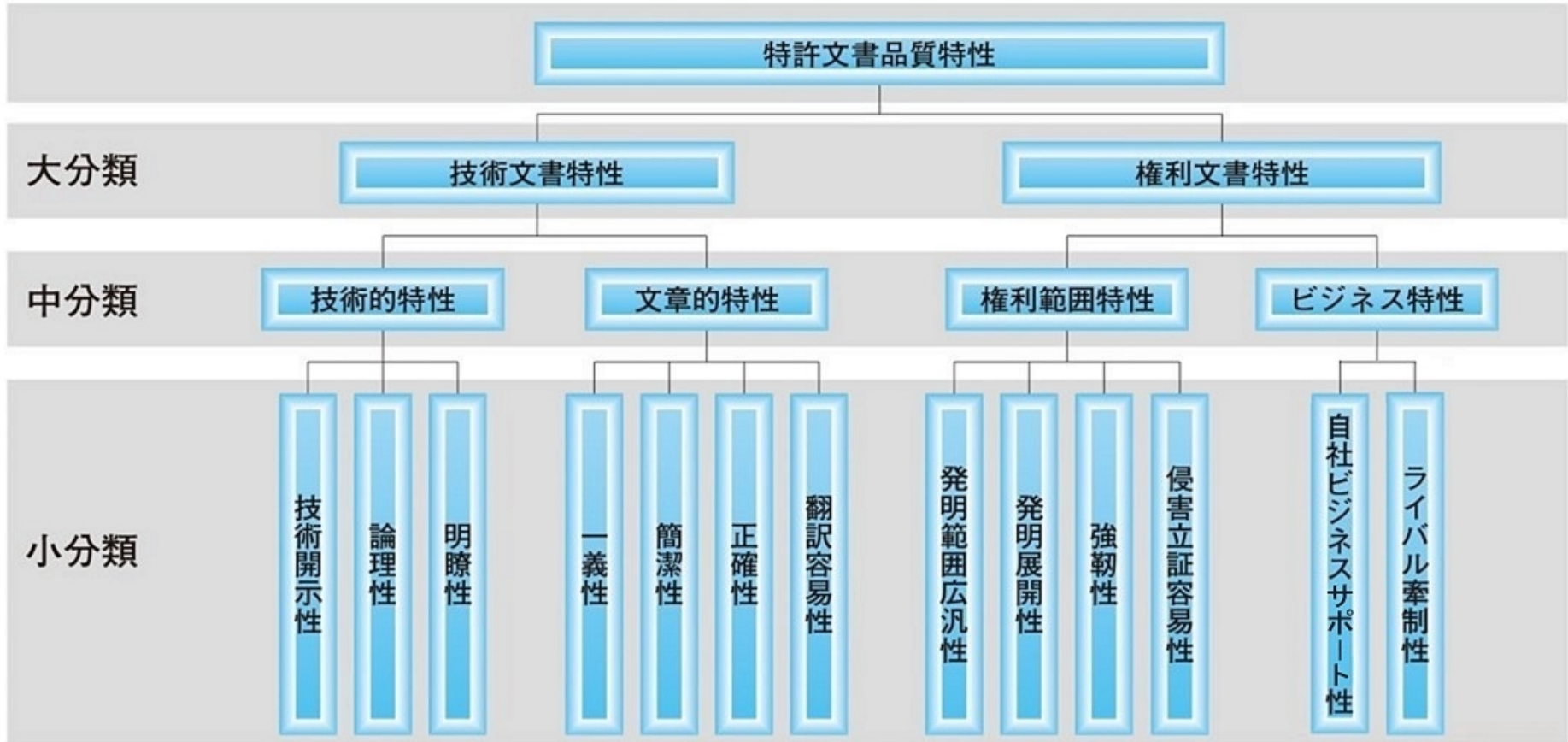
谷川英和・安彦元・黒川恵・久保田真司・杉尾雄一・的場成夫・清藤弘晃・石附直弥・石川雄太郎

2019/2/21

# 1. 取り組み内容

特許文書の品質とは？

## 2. 特許文書品質特性の概要(1)



## 2. 特許文書品質特性の概要(2)

品質特性			品質特性の説明
大分類	中分類	小分類	
技術文書特性	技術的特性	技術開示性	発明が十分に説明されている度合い。特許法が要求しているサポート要件、実施可能要件を満足している度合い。
		論理性	論理的である度合い（例えば、クレームと明細書のストーリーとの技術的因果関係が明瞭であること、背景・従来技術・課題・解決手段・効果等のストーリーの筋が通っている度合い）。
		明瞭性	発明の技術的な説明内容が明瞭である度合い。
	文章的特性	一義性	特許文書を構成する文章が一義的に捉えられる度合い。
		簡潔性	特許文書を構成する各文が簡潔である度合い。
		正確性	特許文書を構成する各文に誤りがない度合い。
		翻訳容易性	翻訳のし易さの度合い。
権利文書特性	権利範囲特性	発明範囲広汎性	発明の本質が抽出されており、無用な限定が無い度合い。権利範囲の広さの度合い。
		発明展開性	発明が十分に展開されている度合い。
		強靱性	拒絶、無効になりにくい度合い。
		侵害立証容易性	侵害の立証が容易である度合い。
	ビジネス特性	自社ビジネスサポート性	自社製品をカバーしている度合い。
ライバル牽制性		ライバルを牽制できている度合い。	

# 3. 特許文書品質特性を用いた評価①

## ～ 定性的評価 ～

小分類	品質特性の説明	評価方法(定性的)
技術開示性	発明が十分に説明されている度合い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>特許請求の範囲において、全ての実施形態が含まれるように記載されているか？</li> <li>請求項に記載の発明特定事項(発明の本質)について、明細書中に十分な記載があるか？</li> </ul>
論理性	論理的である度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>背景・従来技術・課題・解決手段・効果のストーリーの筋が通っているか？</li> <li>明細書の文章全体の構造が明確に把握できるか？</li> </ul>
明瞭性	発明の説明が明瞭である度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般名称、専門用語が正しい意味で使用されているか？</li> <li>造語や略語は、定義が記載されているか？</li> </ul>
一義性	多義的に解釈できない度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>定義の無い多義的な用語・文が使用されていないか？</li> </ul>
簡潔性	簡潔な文の度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>用語の統一性が図れているか？</li> <li>冗長用語、冗長表現(例:制御を実行する)が使用されているか？</li> </ul>
正確性	誤記・技術的誤りが出現しない度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>用語が統一されているか？</li> <li>明細書中の符号と図面の統一が統一されているか？</li> </ul>
翻訳容易性	翻訳しやすい度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>主語があるか？</li> <li>長文や複文が多いか？</li> </ul>
発明範囲 広汎性	権利範囲の広さの度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>上位概念の用語が用いられているか？</li> <li>明細書中に、発明特定事項の定義が限定的に記載されていないか？</li> </ul>
発明展開性	発明が十分に展開されている度合い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>独立項が多いか？(独立項が多いと、訂正要件を満たす可能性が高くなる。)</li> <li>クレームに包含される例が豊富であるか？</li> </ul>
強靱性	拒絶、無効になりにくい度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>クレーム文言が明瞭でありクレーム文言と実施例との間に齟齬がないか？</li> <li>クレームに包含される例が豊富であるか？</li> </ul>
侵害立証 容易性	侵害の立証が容易である度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>発明特定事項を実施する主体が複数になっていないか？</li> <li>クレームに包含される例が豊富であるか？</li> </ul>
自社ビジネス サポート性	自社製品をカバーしている度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社製品・自社サービスに対応した特許請求の範囲、図面、フローチャートが存在するか？</li> <li>収益を守るための請求項が記載されているか？</li> </ul>
ライバル 牽制性	ライバルを牽制できている度合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>他社製品・他社サービスと同一または近似した特許請求の範囲、図面が存在するか？</li> <li>他社製品・他社サービスと同一または近似した用語が使用されているか？</li> </ul>

# 3. 特許文書品質特性を用いた評価②

## ～ 定量的評価 ～

小分類	品質特性の説明	パラメータ(定量的)	
		数量	割合
技術開示性	発明が十分に説明されている度合い。	・実施の形態の数、実施例の数 ・図面数	・実施例でサポートされている請求項の割合 ・請求項の数値範囲をカバーするデータの割合
論理性	論理的である度合い	・クレームツリーの枝にぶら下がっている請求項に番号飛びが存在する場合の飛びの数	・発明特定事項と効果の組が記載されている割合 ・請求項の発明特定事項の例示の記載率
明瞭性	発明の説明が明瞭である度合い	・造語や略語の定義の数	・請求項の造語の定義率 ・請求項の発明特定事項の例示の記載率
一義性	多義的に解釈できない度合い	・多義的な用語の数 ・多義的な文の数	・単文率または複文率 ・能動態または受動態の使用率
簡潔性	簡潔な文の度合い	・長文、複文の数 ・重複記載の箇所の数	・冗長用語、冗長修飾詞の使用率 ・能動態の使用率
正確性	誤記・技術的誤りが出現しない度合い	・誤記、誤字、脱字の数 ・技術的誤りの数	・用語の統一率 ・誤記、誤字、脱字の発生率
翻訳容易性	翻訳しやすい度合い	・主語の無い文、長文、複文の数 ・助詞の誤使用の数	・長い複合詞の使用率 ・日本語特有の不明確に言い易い用語の使用率
発明範囲 広汎性	権利範囲の広さの度合い	・独立項の発明特定事項数、文字数、発明特定事項に対する修飾数、格成分数* ・1つの請求項についての課題や効果の数	
発明展開性	発明が十分に展開されている度合い。	・クレーム数 ・クレームツリーのネストレベル(深さ)	
強靱性	拒絶、無効になりにくい度合い	・背景技術の先行文献数 ・実施例数	
侵害立証 容易性	侵害の立証が容易である度合い	・格成分数*	
自社ビジネス サポート性	自社製品をカバーしている度合い	・実施報償に関する情報、製品の売上情報等の自社固有の管理情報	
ライバル 牽制性	ライバルを牽制できている度合い	・契約情報(ライセンス契約を締結している等)	

# 4. 評価目的・評価シチュエーション別の重要度

品質特性			評価者 評価対象	特許書類の評価目的・評価のシチュエーション								
大分類	中分類	小分類		出願前		出願後・権利化前			権利化後			
				出願前の知財部のチェック	企業に提出前の所内チェック	審査着手時	中間処理時	中間処理時	侵害訴訟	他社抑制効果	ライセンス契約	
			出願人 (主に企業)	作成者側 (事務所)	審査官	出願人 (主に企業)	作成者側 (事務所)	競合企業	競合企業	競合企業・アライアンス企業		
技術文書特性	技術的特性	技術開示性	明細書	A	B	A	C	C	A	B	C	
		論理性	明細書 請求の範囲	A	B	A	C	C	B	C	C	
		明瞭性	明細書	A	B	A	C	C	A	B	C	
	文章的特性	一義性	明細書 請求の範囲	B	B	A	C	C	A	B	C	
		簡潔性	明細書 請求の範囲	B	A	C	C	C	C	C	C	
		正確性	明細書 請求の範囲	B	A	A	C	C	A	B	C	
		翻訳容易性	明細書 請求の範囲	B	A	C	C	C	C	C	C	
権利文書特性	権利範囲特性	発明範囲広汎性	請求の範囲	A	A	C	A	A	A	A	A	
		発明展開性	請求の範囲	A	B	C	A	A	A	B	B	
		強靱性	請求の範囲	A	B	A	A	A	A	B	C	
		侵害立証容易性	請求の範囲	B	B	C	B	C	A	B	C	
	ビジネス特性	ライバル牽制性	請求の範囲	B	C	C	A	C	A	A	B	
		自社ビジネス貢献性	請求の範囲	A	C	C	A	C	A	A	A	

## 5. 今後

### (1) 特許文書品質特性の事例の作成

- ・特性ごとの評価事例や改善事例の作成

### (2) 特許文書品質の普及に向けた方策の検討・実施

- ・産業日本語研究会のHPで、広く意見を募集中

(URL) <https://www.tech-jpn.jp/>

- ・弁理士会、知的財産協会等に依頼しての周知/セミナー開催等の検討
- ・日本知財学会(2018/12/1)、パテント、知財管理、特許懇などへの投稿
- ・解説書の無料配布(冊子, PDF)